



## 背景・目的

- ・CFC, HCFC等は、オゾン層を破壊する物質であり、モントリオール議定書や、国内担保法であるオゾン層保護法に基づき、オゾン層破壊物質以外への転換や監視・測定を継続する必要がある。
- ・また、CFCやHCFCの代替として使用されているHFC（代替フロン）は、オゾン層破壊効果はないが、高い地球温暖化効果（GWP）を有し、ノンフロン・低GWP化を進める必要がある。
- ・さらに、これらCFC, HCFC, HFC（フロン類）について、フロン排出抑制法の着実な施行を通じ、冷凍空調機器に冷媒として使用されているフロン類の使用時漏えい防止や回収率向上等を図り、排出抑制対策をより一層推進する必要がある。
- ・また、気候変動枠組条約でHFCと並ぶ温室効果ガスであるPFC, SF<sub>6</sub>, NF<sub>3</sub>の排出抑制対策も必要である。

## 事業概要・事業スキーム

本事業において、フロン排出抑制法の運用、新たな制度検討や、監視・測定、国際取組等を行う。

- ①脱フロン社会構築推進費（180百万円／直接執行・委託・請負）
- ②途上国におけるフロン等対策支援事業費（22百万円／委託）
- ③オゾン層及びフロン類等状況評価検討費（25百万円／委託）
- ④フロン類の生産抑制及び排出抑制に向けた経済的手法の検討（8百万円／請負）

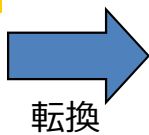
## 期待される効果

- ・フロン排出抑制法の円滑な施行や今後の新たな制度構築により、フロン類の排出量を大幅に削減し、我が国の地球温暖化対策目標の達成に貢献できる。
- ・国際的な枠組み構築や途上国のフロン対策支援を通じて、世界全体のフロン類の削減に貢献できる。

## 事業目的・概要等

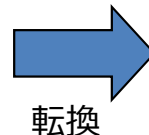
### オゾン層破壊物質

CFC, HCFC  
オゾン層破壊効果 **有り**  
地球温暖化効果 **有り**



### 代替フロン

HFC  
オゾン層破壊効果 **無し**  
地球温暖化効果 **有り**



### ノンフロン

二酸化炭素、アンモニア等  
オゾン層破壊効果 **無し**  
地球温暖化効果 **僅少**

### モントリオール議定書

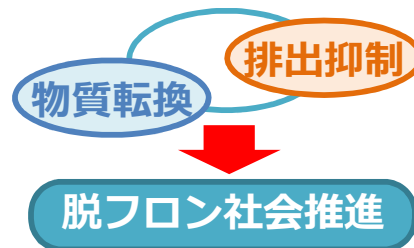
オゾン層保護の観点から  
生産規制等

### 京都議定書

地球温暖化防止の観点から  
排出削減等

オゾン層保護かつ  
地球温暖化防止

## イメージ



### ◎ フロン排出抑制法の確実かつ円滑な実施（排出抑制対策の徹底）

- ・第一種フロン類再生業者及びフロン類破壊業者への立入検査
- ・フロン類の漏えい量の報告・公表制度の運用
- ・都道府県が指導を効率的に行うための体制構築の支援
- ・フロン類対策の評価検証、漏えい実態調査、回収促進方策検討

### ◎ 新たな政策手法の検討

- ・新規対象物質（HFC-365mfc等）の排出抑制対策の検討
- ・フロン類の削減に向けた経済的手法の検討

### ◎ 監視・測定（オゾン層保護法の施行）

- ・オゾン層破壊状況等の評価・公表
- ・フロン類等の濃度状況の監視・測定

### ◎ 国際的取組・途上国支援

- ・モントリオール議定書の改正検討及び国内対応方策の検討
- ・アジアの冷媒フロン等処理対策・物質転換の支援、情報発信

### ◎ ノンフロン技術の普及加速化

（省エネ型のノンフロン技術の普及はエネルギー対策特別会計で措置）